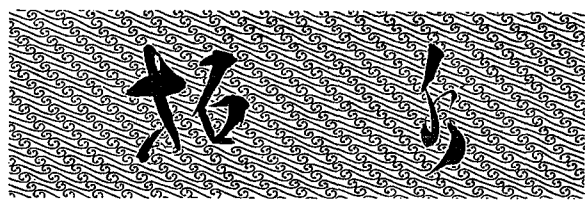


発行所 兵庫県漁業協同組合連合会(財) 兵庫県水産振興基金 神戸市兵庫区中之島2-2-1 TEL 681-6954~7 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

# 豊かで充実した老後を 漁業者年金

ひとりとは万人のために、万人はひとりのために



## 兵庫県漁協貯蓄六〇〇億円達成記念 第十三回兵庫県漁協貯蓄推進大会開催

### 兵庫県信用漁業協同組合連合会

平成元年六月十三日、〇〇億円達成の祝賀と神戸ポートピアホテルに於いて、兵庫県漁協貯蓄推進大会を開催。第十三回兵庫県漁協貯蓄推進大会が盛大に開催された。

また当日は、目原俊民兵庫県知事を講師として、第十三回兵庫県漁協貯蓄推進大会を開催。協賛推進大会を開催することができました。このことは、主催者としてこの上もない喜びであります。さて、本県漁協貯蓄



六〇〇億円達成運動は、昭和六二年、前回の県下五百億円達成を受け、四か年計画をもってスタートいたしました。以来、漁業環境が依然として厳しく、貯蓄推進環境もまた激動の中にあるが、全県民の盛り上がり及び積極的な日常活動に加え、補償金の特別運動が関係漁協の手で大きな成果を得たことが重なりまして、わずか二か年で、目標を大幅に上



- 協、柴山 港漁協
- ☆全漁連会 長賞
- 岩見漁協 佐野漁協 南淡漁協 ☆信連連会 長賞
- 兵庫徳磯 明石浦漁 林崎 漁協、家 島漁協、洲本徳磯 浅野浦漁 協、青波浦漁協、津 居山港漁協、竹野浜 漁協、香住町漁協、 浜坂町漁協、全淡水 加工協
- ☆信連連会特別感謝 神戸市漁協 貯蓄推進運動功労者 (敬称略)
- ☆全漁連会長賞 桑江一仁(神戸市) 戎本忠雄(明石浦) 山田美好(香住町) ☆信連連会長賞
- ☆役員 塩谷保夫(兵庫) 中村清吉(家島) 前田光雄(坊勢) 上村孝一(〇) 岡村重一(岩見) 磯部聖吉(津津) 榎幸之助(明石加工) 谷登(塩田) 高岡勝市(緑) 中野正(淡路町) 吉田寿孝(南淡) ☆職員 三浦保昌(神戸市) 馬場秀児(〇) 山崎香織(林崎) 原田一美(江井ヶ島) 前田正一(坂越) 広瀬孝(東田長町) 大植圭子(洲本)
- 協、松原哲子(生穂) 股野美子(佐野) 頭谷俊明(釜口) ☆全漁連会 長賞 森若義(飯屋) 植田幸代(浦) 坂野米子(淡路町) 宗和サダエ(島島) 丹野千恵(浅野浦) 正司貴則(青波浦) 太田ちづ子(二宮町) 菱池正樹(五石町) 山下正(〇) 坂口房子(淡) 宮内つや子(阿那賀 泊都代子(福長) 原千栄美(全淡加工) 寺口幸夫(津居山港) 三木敏之(〇) 宇谷広吉(竹野浜) 加藤仁(柴山港) 吉津真由美(〇) 山西健八郎(香住町) 尾崎泰則(〇) 西川邦和(浜坂町) 山本泰夫(〇) 山本洋治(〇) 島崎祐壽(香住加工) 濱戸幸雄(〇) 婦人部 山田千賀子(神戸市) 鳥居きぬ子(明石浦) 安良田千歳(伊保) 浜田千恵子(相生)
- 中川かつよ(淡路町) 伊藤静代(一宮町) 続いて、天野専務より「兵庫県漁協貯蓄六〇〇億円達成運動」の経過報告があり、休憩に入りました。
- 再開後、兵庫県知事 目原俊民氏より、特別講演として、「兵庫新時代の創造」と題し、兵庫県の現状と将来の課題について約四十五分間に渡り、誠に有意義な講演をいただいた。続いて、次期運動としての「兵庫県漁協貯蓄八〇〇億円達成運動」の主旨の説明があり、全出席者を代表して五色町漁協 参事羽原正氏より大会決議案が朗読され、満場一致をもって採択された。新たに八〇〇億円の目標に向かって邁進することとなった。
- 大会終了後、和氣相相のうちに結党祝賀パーティーが開催され、六〇〇億円達成記念大会をとりこぼさず、終了した。

## 炭谷恒男氏 黄綬褒章受章祝賀会開催



去る、六月二十一日、神戸ホテルシュレナにおいて、今春黄綬褒章受賞の栄に浴された明石浦漁業協同組合会長理事、兵庫県漁連副会長理事炭谷恒男氏の受賞祝賀会が、目原県知事をはじめ、衆議院議員の井上喜一先生、県会市の諸先生方、行政庁、漁協系統諸団体、金融機関、企業等、各界より約三〇〇名の出席を得て盛大に開催されました。

抄の後、来賓各位より、祝賀、記念品贈呈、そして祝宴と、終始なごやかなうちに執り行われ、最後に村瀬漁連副会長による閉会挨拶をもって無事閉宴と



- 協同組合監事に就任、さらには、昭和四十八年六月周囲の絶大な要請により組合長理事に就任するや、生来の旺盛な責任感と指導力を発揮され、以来十六年の水きにわたり地域漁業の調整、近代化あるいは販売事業推進による組合経営基盤の改革を図るなど終始精力的に漁協運営に力を注がれておりました。
- また氏は、兵庫県漁業協同組合連合会副会長理事をはじめとする県下水産系統団体の要職にあり、そして、前兵庫県信用漁業協同組合連合会会長理事、並びに兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員として、その卓越した

## 大会決議 (全文)

昭和三十一年(昭和三十一年)に於いて、漁業者年金は大きく進歩を遂げ、漁業者の老後を豊かにするに大きく貢献した。この功績をたたえ、漁業者年金の普及を期すことと決議する。

# 兵庫県漁協貯蓄

## 八〇〇億円達成運動要綱

〔基本方針〕

全国的に漁協貯蓄の伸びが鈍化しているなか、本県においては飛躍的な伸びをみ、昭和六三年度末において六八六億円の総高となり、最終目標年度を二か年繰り上げ、かつ、目標額をはるかに上回る成果を得ることができた。今後においてはこの

余勢を駆り、新たに「兵庫県漁協貯蓄八〇〇億円達成運動」を実施する。本運動は、漁協の特性を十二分に発揮し、漁家貯蓄の漁協集約、地域金融機関としての地位確立を目指して、別途「兵庫県漁協信用事業整備強化運動」の展開を通じて、漁協の

三、達成目標額  
平成五年三月末残高八〇〇億 (単位: 百万円)

四、運動重点項目  
①平残運動への復帰と定着化  
②外務活動  
③自由金  
④運動期間  
⑤推進重点項目  
⑥年金及び公共料金  
⑦定期貯蓄利息加  
⑧系統外貯蓄の漁協  
⑨呼び戻し

海区	項目	63年度(実績)	2年度			
			1年度	2年度	3年度	4年度
播磨	純増加額	30,058	91,150	32,400	33,700	35,000
	伸び率	34.0%	3.6%	4.0%	4.0%	3.9%
淡路	純増加額	15,722	16,710	18,200	19,600	21,000
	伸び率	33.0%	6.3%	8.9%	7.7%	7.1%
但馬	純増加額	22,820	23,140	23,400	23,700	24,000
	伸び率	50.2%	3.1%	2.6%	3.0%	3.0%
合計	純増加額	68,600	71,000	74,000	77,000	80,000
	伸び率	12.03%	2.40%	3.00%	3.00%	3.00%

## 平成元年年度通常総会開催

### 瀬戸内海漁場環境保全対策連絡会

当連絡会は、漁場油濁事故が頻発している状況のなか、これまで関係漁連単独で油濁による漁業被害の発生防止に関する活動を進めてきましたが、関係漁連が連携を強化し、その力を結果として油濁事故の発生防止対策を積極的に推進することを目的に、昭和五八年六月一三日に設立いたしました。

以後、毎年、研修会の開催、油濁事故防止啓発用ポスターの作成等を行い、また、昭和六三年度から赤潮の情報交換も併せて実施してまいりました。

このたび当連絡会の通常総会を開催いたしましたのでその結果をご報告します。

(平成元年通常総会)  
平成元年六月二〇日午後三時より福岡市のセントラルホテルフクオカにおいて、平成元年通常総会を開催しました。

当日は、瀬戸内海関係漁連一〇会員の出席と全漁連役員部長代表、油濁基金長高野聖、環境保全協会伊藤常務のご臨席をいただき、会長の高野香川県漁連専務の長岡香村の挨拶の後、各来賓の方々からご祝辞をいただきました。続いて長岡香村議長に選出後、議案審議に入り、第一号議案「昭和六三年度事業報告並

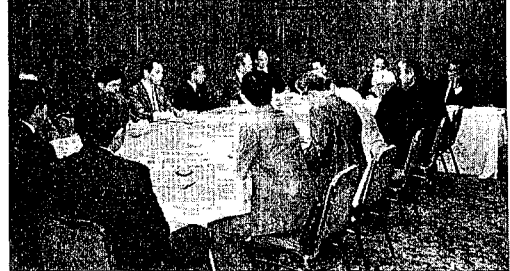
びに収支決算の承認に関する件」、第二号議案「平成元年度分担金の決定に関する件」、第三号議案「平成元年度事業計画並びに収支予算の決定に関する件」、第四号議案「任期満了に伴う役員の変更に関する件」が上程され、決裁承認されました。

なお、役員の変更については、次のとおり選任されました。

会長 長町鏡二郎 (香川県漁連専務)  
副会長 青 正輔 (兵庫県漁連専務)  
監事 浜村 博 (山口県漁連専務)  
「(山崎 東 (大分県漁連専務))

赤潮情報交換網による会員相互の情報交換を行うと共に、赤潮情報報告担当者会議を開催する。

四、その他  
本会の目的達成のため必要な事項



## 漁海況情報

平成元年6月 兵庫県立水産試験場

海況 (明石海峡周辺) 旬平均水温は上旬一八・一℃、中旬一八・九℃を示しており、平年に較べて中旬はほぼ平年並み、下旬は〇・四℃低目である。

(大阪湾西部・紀伊水道北部) 八月一五日の調査結果によると大阪湾の表層水温は一・九℃から二・〇・一℃の範囲にあり、ほぼ平年並みか、やや低い程度である。また紀伊水道北部の表層水温は一・八・七・二・〇・八℃の範囲にあり、全体的に平年より約一℃程度低目である。

(播磨灘) 六月一、二日に実施した調査の結果によると、表層水温は一・六・八・一・二・〇・一℃の範囲にあり、ほぼ平年並みである。

漁況 (小型底曳網) 明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網(ちん漣)では、マコガレイ、アナゴ、ウマツラハギ、マダコ、サルエビなどが主に漁獲されている。また板網ではアナゴ、マダコ、エビなどが主に漁獲されている。小型底曳網の漁獲量は全般的に悪いようだが、播磨灘ではウマツラハギの漁獲が多い。

(一本釣・曳網釣) 明石海峡及びその周辺海域ではスズキ、タチウオ、サバ、カサゴなどが主に漁獲されている。紀伊水道北部では、先月に引き続きマアジの漁獲が多く、大型のものも多量に獲れている。(船曳網) 大阪湾のシラス漁は六月後半に入り、マシラスからカタクシラスが主となった。漁獲量は多いものの、エビなどの混雑が多いため、値が安くなっている。

## 海区漁業調整委員会だより

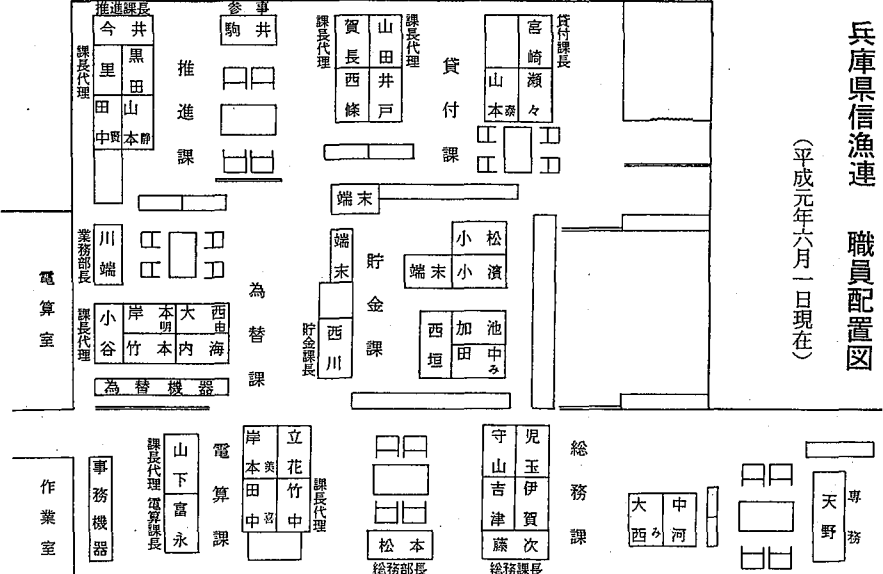
六月二十八日 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を県中央研修センターで開催

一、各地区における漁業の自主規制について  
平成元年五月三十一日現在で瀬戸内海関係六十一漁協を対象に実施した、自主規制の調査結果について、県水産事務所会議室で開催

一、定置漁業に係わる

## 兵庫県信漁連 職員配置図

(平成元年六月一日現在)



漁場計画の事前協議について  
浜坂町相模地区の小型定置漁業者の要望による、定置漁業の漁場計画について、但馬水産事務所より事前協議がなされました。

二、日本海漁業調整委員会連絡協議会の提出議題について  
韓国漁船に対する我が国漁業禁止期間の遵守等について、提案することになりました。

(一)べにすわいがに漁業について  
べにすわいがに漁業の農林水産大臣承認制に係わるスケジュール案、平成元年度べにすわいがにに漁業の許可取扱方針案について、但馬水産事務所から説明と協議がなされました。



24時間オールワツク  
**神戸漁業無線局**  
(呼出名称) こうべぎょぎょう  
(専用周波数) 26912KHZ

# 普及員たより

## 溶接鉄筋板によるアワビ等の資源管理並びに増殖試験

今回は淡路普及班の今年の活動予定の中から新技術企業化試験として課題の試験について紹介したいと思います。何やら長ったらしい訳の分からない題名ですが、図のように鉄筋で四〇cm間隔に井桁で組んだパネル(二×二m)を繋げて大きなアワビ・ウニ等の生育に

適した機に被せるといふものです。この目的は一次的には、密魚防止です。ただそれだけでなく資源管理さらには漁獲増殖へと進めたいと考えています。背景として、県内各地でアワビ・ウニ等磯根資源の密魚が長年の重大な問題となつていふという現状がありま

良地区では多くの潜水漁業者がアワビ・ウニ等の採捕で生計を立てています。しかし限られた漁場の中での高い漁獲圧力により年々漁獲が減り、資源管理をしなければという危機感を持つつつも総論賛成・各論反対という世の中の中で、具体的な実行になかなか移せないという現状があります。

これらを防ぐため、密魚防止さらには資源管理増殖のために、たとえ獲りたくても獲れない様な施設しようとして資源の増殖を図れる方法はないかと、この試験に取り組みます。

今年度は南淡漁協、川鉄建材工業(株)の協力を得てこの施設を

①潜水による密魚、特に問題となつていふ海底の石を返して根こそぎ獲るといふことが不可能となる。

②いさりや又潜水でも手の届く範囲での漁獲等資源に与える影響が比較的軽微な漁法では漁獲可能である。

③鉄筋は餌となるカジメ等の附着基質となるため餌場の造成が期待できる。

④単純な構造なので比較的安価で広範囲をカバーできる等が挙げられます。

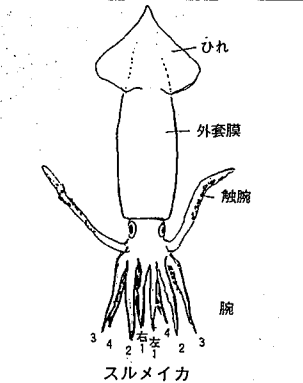
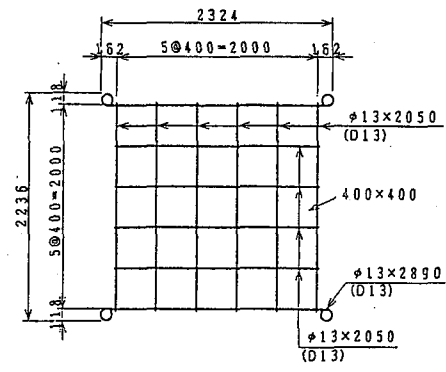
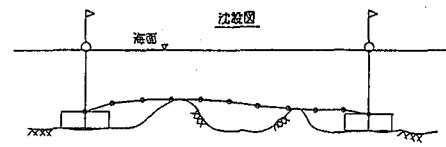
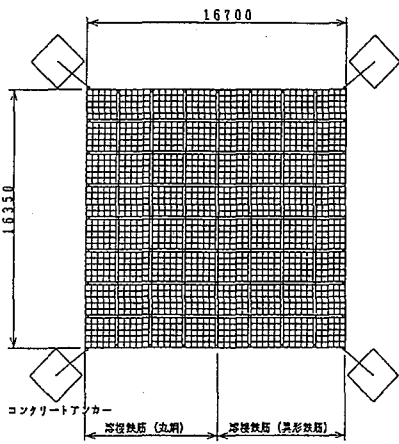
施設の特徴

①潜水による密魚、特に問題となつていふ海底の石を返して根こそぎ獲るといふことが不可能となる。

②いさりや又潜水でも手の届く範囲での漁獲等資源に与える影響が比較的軽微な漁法では漁獲可能である。

③鉄筋は餌となるカジメ等の附着基質となるため餌場の造成が期待できる。

④単純な構造なので比較的安価で広範囲をカバーできる等が挙げられます。

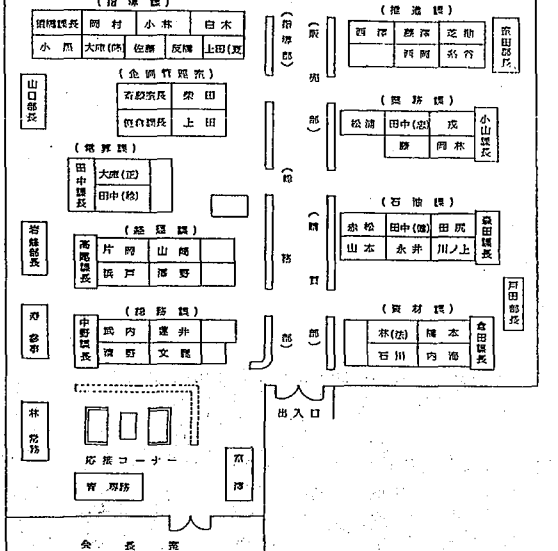
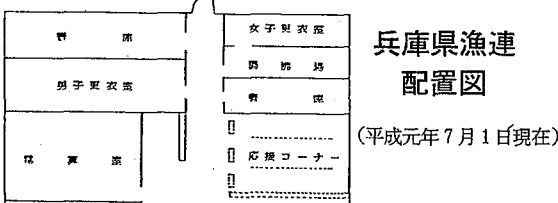


## 但馬魚便り ③

### 〈スルメイカ〉

日本海に分布しているスルメイカは、大きく分けて秋生まれ、冬生まれ、夏生まれの三群に分けられます。このうち沿岸イカは夏生まれ群が主で佐渡以南から対馬周辺沿岸域に分布しているローカル性の強い群。梅雨の晴れ間但馬沖の夜は海は生まれ群が漁獲対象で

イカ釣船の漁火があらここに見え、あたくも海上都市が出現したかのように。これらの船は夕方出漁して翌朝帰港して体色が赤黒い鮮度の良いイカを提供してくれています。一方大型船で漁獲する沖合イカは、秋生まれ群と冬生まれ群が漁獲対象で



平成元年6月20日 神戸海洋気象台

7・8・9月の3か月予報

大阪管区気象台発表

盛夏期は暑さが厳しいですが、秋の訪れは順調でしょう。

この期間、近畿地方に影響する台風は、1から2個の見込みです。

7月：梅雨前線の活動が活発となり、局地的な大雨の恐れがあります。平年より遅く梅雨明けした後は暑い晴天が続くでしょう。

8月：前半は暑さが厳しい見込みです。後半は大気の状態が不安定でにわか雨や雷雨の日が多いでしょう。

9月：移動性高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。残暑は長続きしない見込みです。

\*梅雨明けの平年日7月17日  
遅いとは平年日より4日以上遅い場合をいいます。

津居山港でも同様の水揚げが続いており、今後は沖イカに主力が移行していく時期であり

ところで成熟した雌イカは口の周囲に多くの精虫が植えつけられており交接後であることが確認出来ます。産出された卵塊はフツトボール大で約一〇万粒程度の沈性付着卵塊で、煮つけ揚げのものし、一夜干し、塩辛、干もの、薫製……など、これ程利用の範囲が広い何にでもよい水産物も珍しいものです。大いに但馬の味を賞味していただきたい。(但馬水産事務所 試験研究室)

東シナ海を主産卵場とし、沿岸域より離れて沖を回遊しています。漁獲から帰港まで数日の航海となりますので水敵して持ち帰ります。

日本近海に棲息するイカ類のうち最もポピュラーな種がこのスルメイカでイカ類総生産量の九〇%を占め昭和三五年代は六九万吨(全国)もの水揚げがありました。近年の但馬のイカ漁は昭和六一年に二八〇〇トンと落ち込みましたが六二、六三年は六〇〇〇トン前後に回復しました。これは全国的に見ると七位程度の漁獲量というところです。

最近一日の漁獲量は、余部定置網で三〇〇四〇kg、香住港では五〇〇〇〇kgの沿岸イカと時々入港する沖イカが四〇〇〇〇〜五〇〇〇kgといったところ。

